2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月４日

上場会社名　　あすか製薬ホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　4886　　ＵＲＬ　https://www.aska-pharma-hd.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）山口　惣大
問合せ先責任者　（役職名）グループ経営推進部長　　（氏名）市川　学　　ＴＥＬ　03-5484-8366

半期報告書提出予定日　2026年11月９日　　配当支払開始予定日　2026年11月30日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	35,626	1.1	2,740	3.5	2,862	8.5	2,006	△9.6
2026年３月期中間期	35,253	8.9	2,648	△20.8	2,638	△19.7	2,219	△13.0

（注）包括利益　2027年３月期中間期　4,354百万円（148.4%）　2026年３月期中間期　1,752百万円（△36.2%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	70.63	―
2026年３月期中間期	78.49	―

（注）前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年３月期第２四半期に係る各種数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	111,882	80,225	65.6
2026年３月期	112,379	76,819	62.6

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　73,356百万円　2026年３月期　70,360百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	27.00	―	33.00	60.00
2027年３月期	―	32.00			
2027年３月期（予想）			―	33.00	65.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	73,000	2.6	6,200	6.3	6,100	7.7	4,800	△11.5	169.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無
　　新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）－

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
　①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
　②　①以外の会計方針の変更　：無
　③　会計上の見積りの変更　：無
　④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	28,763,199株	2026年３月期	28,763,199株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	313,485株	2026年３月期	367,085株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	28,411,428株	2026年３月期中間期	28,372,887株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビュー対象外です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

１．本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料「１．当中間決算に関する定性的情報　（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

２．当社は2026年11月12日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する資料につきましては、決算説明会開始までに当社ホームページ（https://www.aska-pharma-hd.co.jp）に掲載する予定です。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
（４）研究開発活動に関する説明 …… 3
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）中間連結貸借対照表 …… 4
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 5
中間連結損益計算書 …… 5
中間連結包括利益計算書 …… 6
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
(継続企業の前提に関する注記) …… 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 8
(セグメント情報等の注記) …… 8
３．補足情報 …… 9
（１）事業会社の主力品の売上高 …… 9
（２）臨床開発状況 …… 10
（３）[連結]設備投資、減価償却費、研究開発費 …… 11

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間において、国内経済は雇用・所得環境の改善等により緩やかな回復傾向が見られたものの、地政学リスクの長期化や円安・エネルギー価格等の上昇に伴う物価の高騰により、先行き不透明な状況が続いております。当社グループの中核を占める医療用医薬品事業におきましては、毎年の薬価改定等、継続的な医療費抑制政策の影響を受け、引き続き厳しい事業環境が継続しております。こうした中、当社グループの事業は、医療用医薬品事業やアニマルヘルス事業が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期から373百万円の増収となる35,626百万円（前年同期比1.1%増）となりました。

また利益面においては、売上高原価率の悪化に加え、研究開発費の増加があったものの、運送保管料等その他費用の削減が進んだこと等から、営業利益は2,740百万円（同3.5%増）、経常利益は2,862百万円（同8.5%増）となりました。一方、法人税等が前年同期に比べ増加したこと等により、親会社株主に帰属する中間純利益は2,006百万円（同9.6%減）となりました。

当中間連結会計期間における当社経営成績は以下のとおりであります。

	前中間連結会計期間（百万円）	当中間連結会計期間（百万円）	増減額（百万円）	増減率（%）
売上高	35,253	35,626	373	1.1%
営業利益	2,648	2,740	92	3.5%
経常利益	2,638	2,862	224	8.5%
親会社株主に帰属する中間純利益	2,219	2,006	△213	△9.6%

セグメント業績は次のとおりであります。

① 医薬品事業

内科、産婦人科、泌尿器科の３分野に注力している医薬品事業は、毎年の薬価改定の影響を受けつつも対前年同期比で増加となりました。製品別にみると、産婦人科領域においては、月経困難症治療剤「ドロエチ」が3,854百万円（同6.2%減）と減少しましたが、子宮筋腫・子宮内膜症治療剤「レルミナ」が5,838百万円（前年同期比2.6%増）と伸長しました。一方、内科領域の主力品である甲状腺ホルモン製剤「チラーヂン」が薬価のプラス改定の影響もあり4,554百万円（同5.7%増）と着実に伸長したほか、難吸収性リファマイシン系抗菌薬「リフキシマ」も4,163百万円（同7.3%増）と堅調に推移しました。泌尿器科領域ではLH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤「リュープロレリン」が2,222百万円（同16.5%増）となりました。

以上の結果、セグメント売上高は29,615百万円（同1.2%増）、セグメント利益は3,297百万円（同5.7%増）となりました。

② アニマルヘルス事業

動物用医薬品、飼料添加物等の製品を販売しているアニマルヘルス事業では、飼料添加物を中心に売上高は4,125百万円（前年同期比9.6%増）となりましたが、円安等による飼料添加物の仕入コスト上昇等によりセグメント利益は276百万円（同2.2%減）となりました。

③ 海外事業

ベトナム製薬企業であるHa Tay Pharmaceutical Joint Stock Companyにおいて、主力製品の中東からの原薬調達難等もあり、売上高は1,798百万円（同15.7%減）、セグメント利益は53百万円（同59.6%減）となりました。

④ その他事業

臨床検査、医療機器等の事業を展開しているその他事業については、売上高は87百万円（同12.0%減）、セグメント損失は2百万円（前年同期は15百万円の損失）となりました。

※主力品の売上高については ３．補足情報に記載しておりますので、ご参照ください。

（２）財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ497百万円減少し、111,882百万円となりました。これは主に、現金及び預金、流動資産その他等が減少したためであります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,903百万円減少し、31,656百万円となりました。これは主に、固定負債の長期借入金および流動負債のその他等の減少によるものであります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3,406百万円増加し、80,225百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による利益剰余金およびその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

その結果、自己資本比率は前連結会計年度末から3.0ポイント上昇し65.6％となっております。

(キャッシュ・フローの状況)

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ3,266百万円減少し、6,859百万円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動におけるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は、535百万円（前年同期は1,105百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の増加や仕入債務の減少はありましたが、税金等調整前中間純利益および減価償却費の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は、1,252百万円（前年同期は5,959百万円の減少）となりました。これは主に、関係会社株式の取得による支出があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は、2,555百万円（前年同期は1,382百万円の増加）となりました。これは主に、長期借入金および短期借入金の返済により支出があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月11日に公表いたしました「2026年３月期決算短信」の通期連結業績予想からの変更はありません。

（４）研究開発活動に関する説明

当中間連結会計期間における研究開発費総額は、4,365百万円であります。第３四半期以降におきましては、AKP-022の臨床試験の終了見込み等、研究開発活動全体が大きく前進する予定であります。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2026年３月31日)	当中間連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,126	6,859
売掛金	16,022	18,420
有価証券	893	―
商品及び製品	14,743	14,456
仕掛品	416	516
原材料及び貯蔵品	14,022	13,563
その他	5,265	4,666
貸倒引当金	△67	△45
流動資産合計	61,424	58,437
固定資産		
有形固定資産	19,244	19,102
無形固定資産		
のれん	2,354	2,354
その他	6,514	6,149
無形固定資産合計	8,869	8,503
投資その他の資産		
投資有価証券	17,299	21,496
繰延税金資産	2,085	1,144
その他	3,474	3,211
貸倒引当金	△17	△13
投資その他の資産合計	22,841	25,838
固定資産合計	50,955	53,444
資産合計	112,379	111,882
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,288	4,565
電子記録債務	2,270	2,138
短期借入金	3,269	2,520
賞与引当金	1,250	1,007
その他の引当金	66	―
その他	10,145	9,007
流動負債合計	22,291	19,239
固定負債		
長期借入金	8,165	7,394
退職給付に係る負債	23	22
その他	5,080	4,999
固定負債合計	13,268	12,416
負債合計	35,559	31,656
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,197	1,197
資本剰余金	31	―
利益剰余金	63,352	64,360
自己株式	△658	△583
株主資本合計	63,923	64,975
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,646	7,427
為替換算調整勘定	△292	△64
退職給付に係る調整累計額	1,083	1,017
その他の包括利益累計額合計	6,437	8,380
非支配株主持分	6,459	6,869
純資産合計	76,819	80,225
負債純資産合計	112,379	111,882

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	35,253	35,626
売上原価	18,267	18,823
売上総利益	16,985	16,802
販売費及び一般管理費	14,336	14,062
営業利益	2,648	2,740
営業外収益		
受取利息	21	30
受取配当金	176	182
不動産賃貸料	73	118
その他	100	77
営業外収益合計	371	410
営業外費用		
支払利息	109	93
持分法による投資損失	26	101
その他	245	93
営業外費用合計	382	288
経常利益	2,638	2,862
特別利益		
貸倒引当金戻入額	－	0
有形固定資産売却益	96	－
特別利益合計	96	0
税金等調整前中間純利益	2,734	2,862
法人税、住民税及び事業税	753	613
法人税等調整額	△383	144
法人税等合計	369	758
中間純利益	2,364	2,104
非支配株主に帰属する中間純利益	144	97
親会社株主に帰属する中間純利益	2,219	2,006

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	2,364	2,104
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	839	1,780
為替換算調整勘定	△1,426	597
退職給付に係る調整額	△27	△65
持分法適用会社に対する持分相当額	2	△63
その他の包括利益合計	△611	2,249
中間包括利益	1,752	4,354
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	2,287	3,950
非支配株主に係る中間包括利益	△534	403

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,734	2,862
減価償却費	1,356	1,411
のれん償却額	83	87
退職給付に係る資産負債の増減額	57	104
受取利息及び受取配当金	△197	△213
支払利息	109	93
為替差損益（△は益）	10	13
持分法による投資損益（△は益）	26	101
有形固定資産除売却損益（△は益）	△91	75
売上債権の増減額（△は増加）	△1,662	△2,383
棚卸資産の増減額（△は増加）	△990	761
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,950	△911
その他	728	△48
小計	212	1,953
利息及び配当金の受取額	196	212
利息の支払額	△109	△92
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	805	△1,537
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,105	535
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△386	―
有形固定資産の取得による支出	△1,984	△404
有形固定資産の売却による収入	166	0
無形固定資産の取得による支出	△318	△81
有価証券の償還による収入	496	926
関係会社株式の取得による支出	△3,863	△1,684
関係会社株式の売却による収入	44	―
その他	△113	△9
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,959	△1,252
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,500	―
長期借入金の返済による支出	△990	△740
短期借入金の純増減額（△は減少）	△262	△852
自己株式の増減額（△は増加）	△0	―
配当金の支払額	△850	△937
その他	△13	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,382	△2,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	△68	5
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△3,540	△3,266
現金及び現金同等物の期首残高	10,603	10,126
現金及び現金同等物の中間期末残高	7,062	6,859

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

Ⅰ　前中間連結会計期間（自2025年４月１日 至2025年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	医薬品事業	アニマルヘルス事業	海外事業				
売上高							
外部顧客への売上高	29,255	3,765	2,133	99	35,253	―	35,253
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	42	42	△42	―
計	29,255	3,765	2,133	141	35,295	△42	35,253
セグメント利益又は損失(△)	3,119	282	131	△15	3,519	△870	2,648

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失(△)の調整額△870百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

３　セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

４　前連結会計年度において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前中間連結会計期間のセグメント情報については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の当初配分額の重要な見直しが反映された後の金額を記載しております。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自2026年４月１日 至2026年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注）１	合計	調整額（注）２	中間連結損益計算書計上額（注）３
	医薬品事業	アニマルヘルス事業	海外事業				
売上高							
外部顧客への売上高	29,615	4,125	1,798	87	35,626	―	35,626
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	36	36	△36	―
計	29,615	4,125	1,798	123	35,662	△36	35,626
セグメント利益又は損失(△)	3,297	276	53	△2	3,624	△884	2,740

（注）１　「その他」の区分は報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、臨床検査および医療機器等の事業を含んでおります。

２　セグメント利益又は損失(△)の調整額△884百万円は、各事業セグメントに配分していない全社費用であり、主に持株会社である親会社に係る費用であります。

３　セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

３．補足情報

（１）事業会社の主力品の売上高

主　力　品　の　売　上　高
（２０２７年３月期　第２四半期実績）

あすか製薬株式会社　　（単位:百万円）

品目名		前期 2026年3月期		当期 2027年3月期		対前年同四半期増減率（%）
		第2四半期実績	年間実績	第2四半期実績	年間見込	
子宮筋腫・子宮内膜症治療剤	レルミナ	5,692	11,173	5,838	11,340	2.6
甲状腺ホルモン剤	チラーヂン	4,306	8,775	4,554	9,082	5.7
難吸収性リファマイシン系抗菌薬	リフキシマ	3,880	7,883	4,163	8,023	7.3
月経困難症治療剤	ドロエチ	4,109	8,312	3,854	7,678	△ 6.2
高血圧症治療剤	カンデサルタン※	4,026	7,884	3,597	7,213	△ 10.7
LH-RH誘導体マイクロカプセル型徐放性製剤	リュープロレリン	1,908	3,880	2,222	5,096	16.5
月経困難症治療剤	フリウェル	1,509	2,973	1,287	2,586	△ 14.7
黄体ホルモン製剤	ルテウム	1,095	2,270	1,177	2,197	7.5
抗甲状腺剤	メルカゾール	825	1,654	881	1,745	6.9
経口避妊剤	スリンダ	119	392	549	1,019	358.1

※ カンデサルタン配合剤を含む

あすかアニマルヘルス株式会社　　（単位:百万円）

事業分野名	前期 2026年3月期		当期 2027年3月期		対前年同四半期増減率（%）
	第2四半期実績	年間実績	第2四半期実績	年間見込	
飼料添加物、混合飼料、飼料原料	2,249	4,513	2,739	5,069	21.8
動物用医薬品	1,371	2,640	1,336	2,727	△ 2.5

（２）臨床開発状況

臨 床 開 発 状 況

（2026年11月現在）

2026年11月４日
あすか製薬株式会社

区　分	(開発番号)	一 般 名	領 域・効 能	備　　考
PhaseⅢ	(AKP-022)	レルゴリクス配合剤	子宮筋腫	武田薬品工業㈱より導入
PhaseⅢ	(AKP-022)	レルゴリクス配合剤	子宮内膜症	武田薬品工業㈱より導入
検証的治験	(MCN-009)	治療用アプリ ※1	過敏性腸症候群(IBS)	㈱MICINとの共同開発
PhaseⅢ ※2	(LPRI-CF113)	ドロスピレノン	月経困難症	Insud Pharma（スペイン）より導入
PhaseⅡ	(AKP-009)	ルダテロン酢酸エステル	前立腺肥大症	自社創製
PhaseⅠ	(AKP-021)	mPGES-1阻害剤	―	自社創製
開発準備中 ※3	(AKP-009)	ルダテロン酢酸エステル	多内分泌代謝性卵巣症候群(PMOS)	自社創製
開発準備中 ※3	(AKP-017)	テストステロン経鼻剤	―	自社創製

※1　薬事上の一般的名称は新設予定のため未定であります。

前回からの変更点

※2　LPRI-CF113:ドロスピレノンにつきましては、PhaseⅠ/Ⅱを終了し、現在PhaseⅢ実施中であります。

※3　AKP-009:ルダテロン酢酸エステル（PMOS）、AKP-017:テストステロン経鼻剤につきましては、
現在開発準備中であります。

（３）［連結］設備投資、減価償却費、研究開発費

１．設備投資（有形固定資産及びソフトウェア）

	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
第2四半期	1,677　百万円	1,901　百万円	468　百万円
通　　期	2,700　百万円	2,379　百万円	（予）　**1,624**　百万円

２．減価償却費

	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
第2四半期	1,069　百万円	1,355　百万円	1,411　百万円
通　　期	2,247　百万円	2,917　百万円	（予）　**3,071**　百万円

３．研究開発費

	2025年３月期	2026年３月期	2027年３月期
第2四半期	3,093　百万円	3,703　百万円	4,365　百万円
通　　期	7,031　百万円	7,060　百万円	（予）　**8,246**　百万円